

事業者向け 放課後等デイサービス評価表(令和6年1月実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適当であるか	○			指導訓練室以外に身体を十分に動かせるスペース(リハビリルーム)など確保し、雨の日でも活動が出来るように配慮しています
	②	職員配置や専門性は適切であるか	○			設置基準以上の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			昇降リフトを使用できるように配慮しています。
業務改善	④	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			月一度の事業所会議のほかにケース会議など適宜設け、サービスの提供内容について確認、実行しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本人や家族の意向を把握しながら業務改善をしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページと紙面での配布を行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今年は第三者評価は受けていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に積極的に参加しています。また、2週間に1回、対応で困っていることなどを共有しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一度、現在の様子と今後の課題の原案会議を保護者と本人同席(小学校高学年から)で行い、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準されたアセスメントシートは参考にして利用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで話し合いの場を設けています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週案を作成し、様々なプログラムの提供が行えるよう、職員間で意見交換を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後の過ごし方と、休業日の活動内容は変化させ、個別課題も確認し実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人の自己選択を多く取り入れています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			業務の初めと昼休み後に必ずミーティングを行います。活動内容によって個別の対応内容を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日又は次の日に必ず、振り返りを行っています。気づきの共有は、大事にしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録から確認し、足りない視点については、再度尋ね、詳しく記入しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の直しの必要性を判断しているか	○			面談で時間をとり、話すことを大事にしています。希望によりすぐに行うようにしています。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援しているか	○			ガイドラインがすぐに手に取れるようにしています。
関係機関や保護者との連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と担当者が同席します。
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	○			年間、月間計画や行事予定など学校へ連絡をし情報を得ている。日常の情報に関しては電話での情報共有を多く行いました。
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在該当児がいないが、必要な場合には連絡体制を取れるよう配慮していきます。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			積極的に行っています。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			積極的に行っています。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連携を行っています。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		大村小学校の校庭を借りたり、大村公民館での地域行事に参加しています。
	㉚	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			豊築自立支援協議会のこども部会に所属しています。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談だけでなく、電話や送迎時など連絡報告する機会として活用し、きめ細かい支援が出来るよう努めています
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングの観点は研修を受け、その視点を持って保護者の方に助言を行っています
保護者への説明責任	㉝	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約児や変更時に文書などにより説明を行っています。
	㉞	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時以外にも適宜電話などで行っています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			半年に1回ほどの活動報告会を行っています。福祉の文化祭に参加してもらったり、利用児童の保護者が会う機会を設けています。
	㊱	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			些細なことでも、迅速に対応しています。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			広報などで発信しています。
	㊳	個人情報に十分注意しているか	○			職員全体で周知をしています。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉だけの支援ではなく、文字や写真、具体物を活用して子供たちの意思を尋ねたりしています。また支援員に意思を汲み取るスキルが獲得できるよう研修を行っています
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		利用児童の地域の方や、大村地区の方に気軽に来園してもらえるように関わっています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応、防犯マニュアルに関してはホームページにて閲覧可能としています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月一度は避難訓練を行っています。学校の長期休業中にも行い年に一度は全員が経験できるようにしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止の研修を毎年実施、権利擁護や意思決定の支援についての研修を繰り返し行い常に意識出来るようにしています。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に解決し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要な方の保護者の方に対しては丁寧に説明をし了解を得てから行っています。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の指示により、薬の飲み合わせに関し摂取してはいけない食べ物がある児童、アレルギーのある児童に関しては保護者と連携して内容を確認、職員で周知しています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所会議内または、日々のミーティングで、些細なことでも共有し、振り返ります。